

# 評 価 書

福島県立郡山高等学校

令和4年2月 学校評議員による評価

## 学 校 評 議 員 に よ る 評 価

### I 学校における自己評価活動の取組み

#### I. 1 『学校経営・運営ビジョン』と校内組織体制について

適切な『学校経営・運営ビジョン』となっているか。適切な評価計画を立ててわかりやすく保護者等に提示しているか。リーダーシップのもとに評価活動が組織的な取組となっているか。教職員には評価活動が浸透し、積極的に推進できているか

- ・個々の先生方が目指している『授業の質の向上』が、高いレベルで達成できるような研修体制の充実をお願いしたい。学年として、あるいは同一教科内では密に連携を図りながら実践に励まれていると思うが、学年や教科の枠を取り払った学校全体の取組がよく見えなかった。学習指導スキルアップのための校内一斉の授業研究会などが実施できないか。また、たまには、現在の郡高生の実力に見合った授業から、もう一段上をねらったハイレベルな授業展開を工夫して、生徒たちの知的好奇心なり向上心を刺激するのもよい。
- ・現状のままでよいが、「SDGs」について、どこかに書き込むことは今後に向けてプラスになるのではないか。
- ・上履き、トイレについては、学校生活に関わることなので可能であれば要望に添うことで検討してはどうか。
- ・よくまとまっているようだ。しかし、アンケート結果をみると、問題は別なところにあるかもしれないと感じる。
- ・よくできている

#### I. 2 『学校経営・運営ビジョン』の展開と自己評価について

(『学校経営・運営ビジョン』をもとに、評価活動が学校改善に向かっているか。常に自己評価は全体の評価に連動し、評価活動が学校全体に展開しているか。)

※評価が学校改善に生かされているかどうかについてご記入ください。

- ・完璧とは言い切れないが、学校の目指す生徒像としての「文武両道」への挑戦がかなりのレベルで結実していると思う。また、『保健衛生』面で、コロナ感染症対策では大変な苦労があったと思うが、ホームページのトップページを見るだけで先生方が感染防止に大いに努力している様子がわかり信頼できた。進路指導をはじめとした相談活動の充実ぶりからも、生徒の側に寄り添った、先生方のきめ細かな指導の有り様が垣間見られた。
- ・問題点を修正し、方向性をしっかりとしたものにしていこうという姿がとても感じられる。
- ・全体的に評価できる。

#### I. 3 広報とアンケート等について

(学校から、生徒、保護者や地域の人々へ情報が提供され、学校課題を発見するためのアンケート等を行って、その公開に学校は責任を持ってあたっているか。)

- ・定期的にアンケートが実施されて生徒や保護者の考えや思いが集約され、学校の教育活動の改善に生かしていこうという強い姿勢が感じられる。その上で、アンケートから浮かび上がった課題に対して学校はどう向き合い、解決に向けてどのように行動しているのか、その都度の速やかな情報発信があれば、さらに保護者の信頼も増すと思う。「現在進行中です」という途中経過の報告だけでも、大いに意味はあると思う。
- ・情報発信した場合は生徒・保護者に発信したことがわかるように広報、連絡することが重要である。
- ・現代の情報発信についてはとても気を付けなければならないと思う。正しい情報であることが大切である。現状を踏まえると、更新・発信を多くしてもよいと思う。
- ・適正に行われている

(裏面に続く)

## I. 4 取組み状況全体について

(学校の中に閉ざされた部分が残りに、生徒や保護者及び地域社会が困っていたりしないか。教職員の日々の活動が教職員の仕事の見直しと改善とつながっているか。学校の特徴が生かされ、生徒や保護者の満足度は高くなっているか。) など、本校の取組み状況全体について、ご意見等ご記入ください。

- ・学年が上がるにつれて生徒や保護者の学校に対する満足度が高くなっているのがわかる。学校からの指導を十分に理解し信頼している証だと思う。その信頼に応えるとともに、より高い次元ですべての生徒が「文武両道」の実現を果たせるよう、中でも特に「文の修得」面でICTの活用が個々の生徒の学力向上に結びつくよう、先生方が研鑽を重ねることを期待する。部活動や学習面で成果を収めるに至らない生徒について、どこまでフォローできるかという努力が教師としての力量を高めるチャンスになると思う。生徒想いで面倒見のいい先生が多い郡高の特質を大いに発揮して、どの生徒も満足できる学校作りをお願いしたい。
- ・課題や出来事に対してタイムリーな対応をするとともに、説明責任を果たすことが重要である。
- ・コロナ禍ではあるが、取組み状況は良好である。部活動や進学率にそれらの成果が表れている。
- ・コロナ禍で大変な時期ではあるが、工夫して活動している。

## II 自己評価活動と学校評価全体への学校の組織的な取組みとその改善

(生徒や学校・地域の実態を踏まえた適切な教育目標とその実行によって、わかりやすく保護者等に学校の活動全体を提示し、目標に向かって改善が行われ、次のビジョンへ展開しているか。)

※保護者に対して学校活動の全体が提示されているか。また、その改善も行われているか、についてご意見等ご記入ください。

- ・英語科が廃止されて誕生する「グローバル探究科」そして令和5年度から導入される「教育コース」の展開により、郡山高校は大きく変わると思う。あわせて、県中地区における「進路指導重点校」として今後どうやってその責任を果たしていくのか、学校側からの丁寧な情報発信が求められている。県教委の方針を踏まえ、本校がどのように変容進化しようとしているのかをできるだけ具体的に、わかりやすく情報発信する必要がある。
- ・ネットを使ったことによりいろいろな意見を聞くことができたと思う。
- ・改善については小さくてもよいのでできるところから実施するのが早道である。
- ・「グローバル探究科」について、「後期実施計画」の方向性を読んでも「SDGs」に関する資料を見ても不明瞭なので、募集の際は、具体的な内容にすべきである。個人的には、わざわざ学科を設置することについて、理解に苦しむ。
- ・英語科は昨年度の入試も定員割れであるが、文系、理系を問わず、高校からしっかり実践して、社会人としての人材育成をしてほしい。学科でなくカリキュラムでも対応可能では？
- ・トイレを水洗（洗浄機付き便座）にしてほしい。
- ・アンケート結果を見ると学校や教員への不満もみられるが、全体的に良好である。一つ一つの問題を早期に解決し、お互いに理解できれば、問題は決して悪いものではない。
- ・コロナ禍によりPTA等、学校の内容がよくわからない状況である。広報を増やす必要がある。

## III その他

(地域社会との連携や、開かれた学校づくりについての更なる活動についてのアドバイス等)

- ・コロナ禍ではあるが、昨年度よりは多くの生徒の活動が保証されて生徒たちも学校生活を楽しめたようだ。
- ・一般向けの情報発信が不足している。学校のことを多くの人に知ってもらうには、インターネットが最適である。ホームページ担当者を明記し、専任の教員を配置すべきである。
- ・コロナ禍、学校改革、学校再編等の中、先生方は、生徒の夢実現のためよくやっていると思う。教師も一人の人間であり、家族の一員である。生徒の夢を実現させ、自分の夢も実現させていただきたい。
- ・3年生の保護者から感謝の声が寄せられていることは、喜ばしいことだ。